

編集後記

「およそ日本軍には失敗の蓄積・伝搬を組織的に行うリーダーシップもシステムも欠如してきたというべきである。(中略) また、組織学習にとって不可欠な情報の共有システムも欠如していた。」(戸部良一『失敗の本質―日本軍の組織論的研究』より)

人工関節の歴史はある意味で失敗の歴史ということができるかもしれません。万人が人工股関節の祖と認める Sir John Charnley でさえも、歴史的な成功をおさめた low friction arthroplasty の開発に至るまでに、多くの失敗を重ねてきたことが知られています。その後も、「良かれ」という判断でおこなわれた人工関節の改良(悪)が、かえって悲惨な成績を招いてしまった、という歴史には枚挙にいとまがありません。「わざと失敗したわけではない。失敗は成功の母であり、失敗を恐れているは科学の進歩はない」という謂は、事実としては正しいとしても、一生に一度かもしれない大手術を受ける患者さんにとってみればとんでもない話であり、医療者側の傲慢と受け取られても仕方ないでしょう。医療の進歩に技術的なイノベーションは必須ですし、新たな機器や技術について 100% の成功を保証することは不可能であるとしても、不具合をなるべく早期に見つけ出し、少しでも良い手術(機器)を患者さんに提供することは、手術を提供する側の責務です。岐阜大学の秋山治彦教授にご企画いただいた本号

の特集「人工関節のレジストリー」は、そのような意味で最適な人工関節を患者さんに提供するための重要な取り組みです。

人工関節レジストリーの有用性は明らかであり、様々な機種の人工関節間の臨床成績の比較が可能になるだけではなく、例えば metal-on-metal THA のように、レジストリーによって早期の再置換率の高さが明らかとなり、使用が差し控えられるようになった機種もあります(名越の項参照)。この例からもわかるように、失敗を早期に把握して、被害の拡大を最小限に抑えるためにレジストリーから得られる情報は極めて有用であり、わが国でも進めるべき取り組みであることは言を俟ちません。レジストリー制度は 1975 年のスウェーデンの人工膝関節登録を嚆矢として、北欧でシステム構築が先行し、現在ではヨーロッパのほとんどの国で制度が整備されていますが、これらの国に比べると残念ながら日本では制度整備が遅れており、登録率も 20% 程度と低い状態です(星野の項参照)。その理由としては、レジストリーの整備・維持に必要な資金を誰が負担するのか、入力是谁が行うのか、などの問題が解決されていないことが挙げられます。しかし今後、日本が人工関節の分野でガラパゴス化しないためにも、また旧日本軍の失敗を繰り返さないためにも、早急なレジストリー制度の整備が待たれるところです。(田中 栄)

「整形・災害外科」第 61 巻 第 4 号 (4 月号) 2018 年 4 月 1 日発行 (毎月 1 回 1 日発行) 定価 (本体 2,500 円 + 税) 年間購読料金 定価 (本体 39,400 円 + 税) 〔年間 13 冊 (臨時増刊号, 増大号を含む) の誌代〕 〔年間予約購読者に限り送料無料〕	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14 TEL 03 (3811) 7165 [編集室直通] TEL 03 (3811) 7184 [営業部直通] FAX 03 (3813) 0288 http://www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600
---	---

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、二次的著作物の利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail:info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。